

今、改めて人権とは。。。。



くちよつと真面目な話く

現代に生きる私たちは、これまで学校や職場、地域などで『人権』について様々なシーンで学ぶ機会があったと思います。

な〜んだ、また人権か！なんて声が何処からか聞こえてきそうですが…。頭では理解しているつもりでも、人権って『人権問題』の当事者の人たちの問題であつて、人権はどこか他人事として考えられている傾向が強いのではないのでしょうか？それは、『人権は差別の問題』と考えるケースが多いからだと思います。

改めて人権とは『生まれながらに持っているもの』とか『人間として尊重され大切にされながら生きていくために欠かせないもの』という基本的なことが忘れがちになっているのも事実なのではないでしょうか。

『人権とは空気のようなものである。』と表現されることがあります。ある時はその大切さに気づかない。失われそうになって初めて重要性に気づき、生きていく上で大切なものなんだ！と認識するものかもしれません。

今のロシアとウクライナ情勢のように、遠く離れた世界の誰かの人権にも想いをはせることができる…。そんな思いやりに満ちた人間(ひと)でありたいですね。